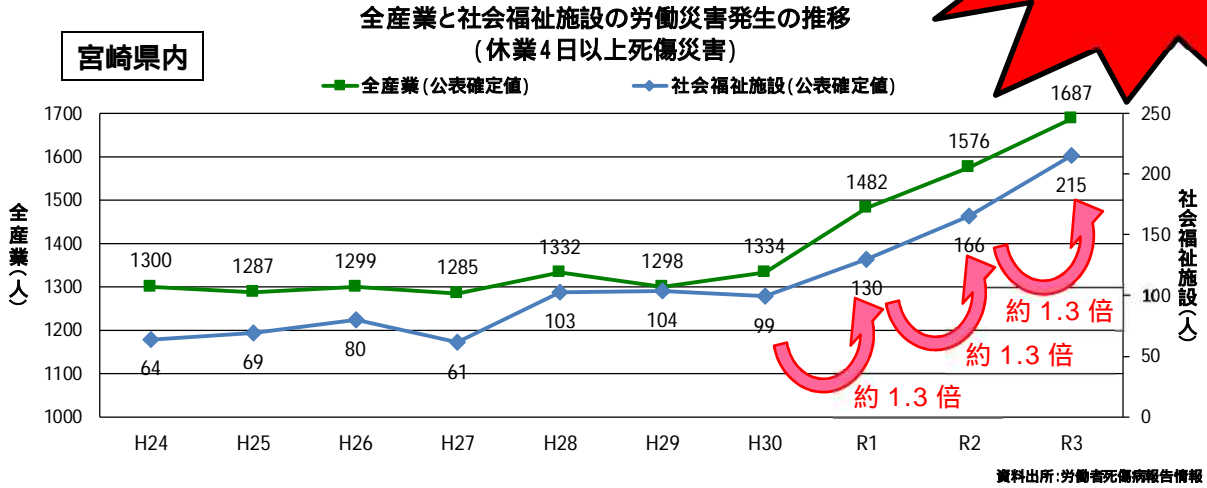


宮崎県内の社会福祉施設における労働災害発生状況

近年急激な増加

10年前の約3.3倍

1 社会福祉施設における労働災害の推移



休業4日以上死傷者数は、社会福祉施設で以前から増加傾向でしたが、令和元年から増加の割合が顕著になっており、毎年約1.3倍ずつ増加しています。

また、全産業では長期的に減少傾向でしたが、同じ令和元年から増加に転じており、**社会福祉施設の労働災害の急増が宮崎県全体の死傷者数を押し上げる要因となっている**ことがうかがえます。社会福祉施設の労働災害を減少させることが急務となっています。

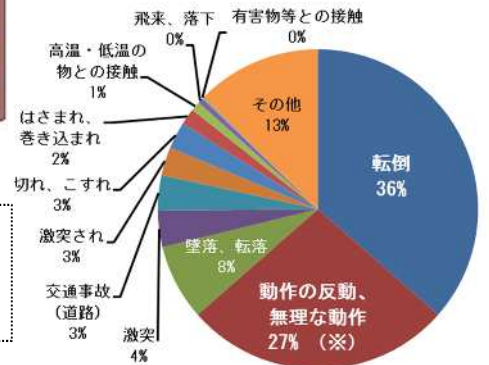
2 社会福祉施設における労働災害の内容

(1) 事故の型別

社会福祉施設の労働災害をみると、腰痛関係と転倒災害が多くなっています。「転倒」が36%、腰痛などの「動作の反動、無理な動作」が27%と多くを占めています。社会福祉施設での腰痛の発生件数は増加傾向にあります。



社会福祉施設 死傷災害(休業4日以上) 【事故の型別】【H29~R3年】



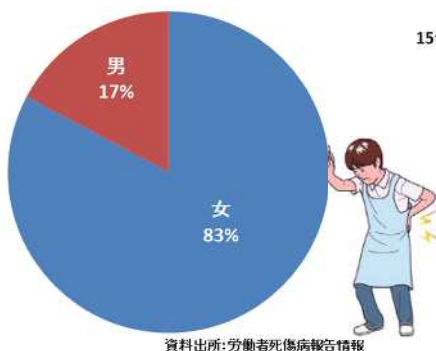
「動作の反動、無理な動作」とは、重い物を持ち上げて腰をぎっくりさせたというように、身体の動き、不自然な姿勢、動作の反動などが起因して、すじをちがえる、くじく、ぎっくり腰及びこれに類似した状態になる場合を言います。

(2) 性別、経験年数、年齢別

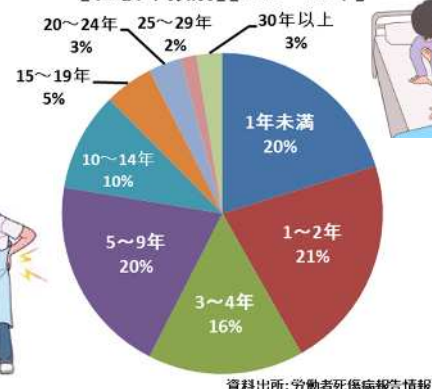
社会福祉施設では、女性労働者が被災する労働災害が全体の83%を占めています。

また、経験の浅い3年未満の被災者が全体の41%を占め、50才以上の被災者が全体の半分以上を占めています。

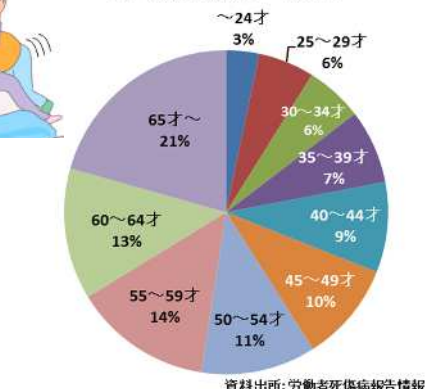
社会福祉施設 死傷災害(休業4日以上) 【性別】【H29~R3年】



社会福祉施設 死傷災害(休業4日以上) 【経験年数別】【H29~R3年】



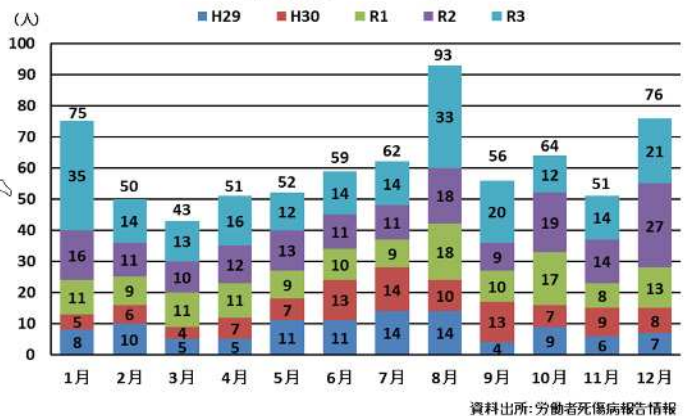
社会福祉施設 死傷災害(休業4日以上) 【年齢別】【H29~R3年】



(3) 月別

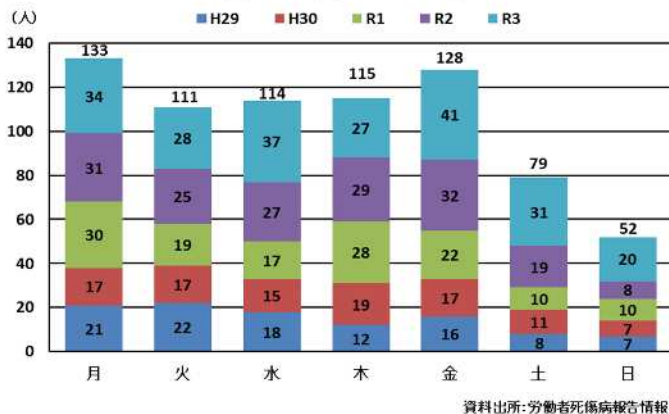
月別でみると、3月が最も少なく43人ですが、8月はその倍以上の93人と最も多く発生しています。また、年間を通してみると、1月、8月、12月に労働災害が多いことがうかがえます。

社会福祉施設 死傷災害(休業4日以上)
【月別】【H29～R3年】



(4) 曜日別

社会福祉施設 死傷災害(休業4日以上)
【曜日別】【H29～R3年】

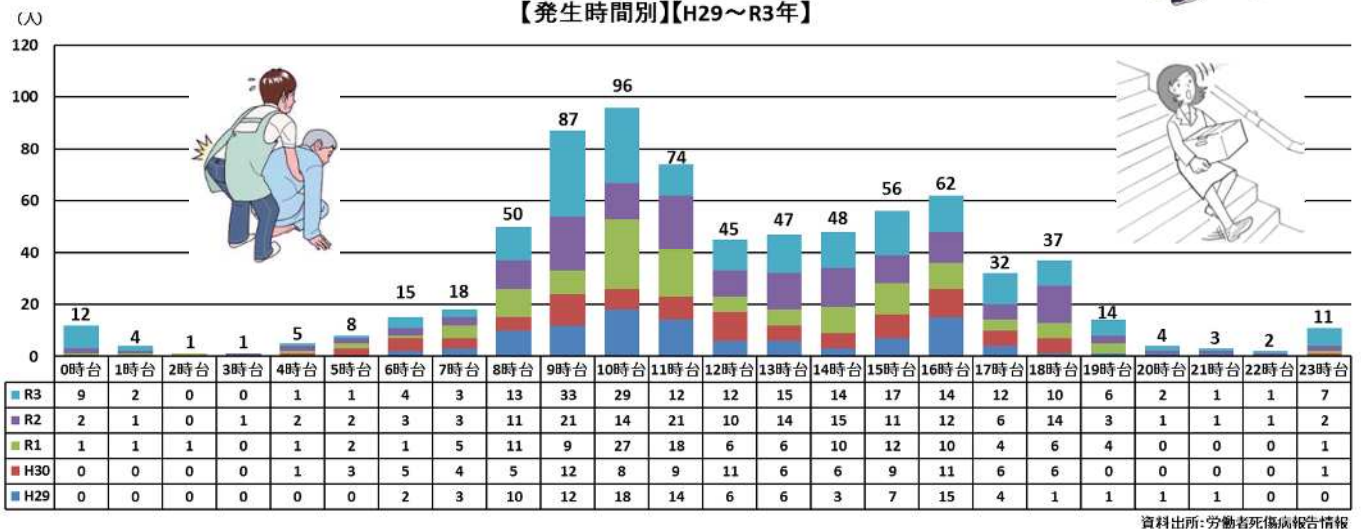


曜日別でみると、月曜日と金曜日がやや多いものの、月曜日から金曜日までの発生数に大きな差はありません。土曜日、日曜日は少なくなっています。



(5) 発生時間別

社会福祉施設 死傷災害(休業4日以上)
【発生時間別】【H29～R3年】



発生時間別でみると、8時から11時までの午前中に労働災害が多発しています。また、午後は終業時間帯に近づくにつれて増加傾向にあります。始業直後の時間帯（7時台）や昼の休憩明け直後の時間帯（13時台前後）の労働災害は、全体からすると比較的少ない状況です。

厚生労働省では、ホームページで下記の安全衛生リーフレット等を公開していますのでご活用ください。

社会福祉施設における安全衛生対策 ～腰痛対策・KY活動～

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000075093.html>

動画教材：職場のあんぜんサイト

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/kyozashiryo.html>

転倒予防・腰痛予防の取組

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000111055.html>

社会福祉施設のリスクアセスメント導入促進マニュアル

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000211913.html>

社会福祉施設の安全管理マニュアル

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000110456.html>

社会福祉施設における危険の「見える化」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000069511.html>

介護業務で働く人のための腰痛予防のポイントとエクササイズ

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/131025-03.html>

